

令和8年度ギャラクシティプラネタリウムおよび体験施設利用についてのご案内

時下ますますのご清祥のこととお喜び申し上げます。

令和8年度において「プラネタリウムおよび体験施設利用」を下記のとおり開催いたします。

記

1. 開催期間

令和8年5月7日（木）～令和9年2月26日（金）の平日

※大規模改修工事の開始に伴い、令和9年2月27日（土）以降の施設のご利用はできません。

あらかじめご了承ください。

※詳細は「団体プログラム資料」をご覧ください。

2. その他

(1). 昼食場所の提供を希望される場合、可能な限り用意いたします。利用状況によりお断りする場合もございますのであらかじめご了承ください。

(2). なるべく公共交通機関を利用のうえご来館ください。

駐車場をご利用の場合、ご来館の約2週間前に確定いたします。早めのご相談は可能ですが、必ずしもご希望に沿えない場合がございます。

【問合せ・申込先】

ギャラクシティ 団体予約担当

〒123-0842 足立区栗原一丁目3番1号

電話：03-5242-8161

F A X：03-5242-8165

Email：group@galaxcity.jp

足立区こども未来創造館

令和 8 年度版

団体プログラム資料

令和 8 年 1 月改訂



ギャラクシティ
G A L A X C I T Y

目次

1. プラネタリウム投影プログラム・・・P1～P3
 - 未就学児～小学校低学年むけ幼保投影・・・P1
 - 小学校中学年～高学年むけ学習投影・・・P2
 - 中学生以上むけ学習投影・・・P3
2. サイエンスプログラム・・・P4
3. 体験施設のご紹介・・・P5～P6
4. 学習施設のご紹介・・・P7
5. 禁止事項・・・P8

令和8年度 未就学児～小学校低学年むけ幼保投影

すべての番組は約30分です。

- ★ 他の団体と合同でご見学いただく場合があります。
- ★ 申し込み用紙に希望番組の記入がなく、投影2週間前までにご連絡頂けない場合は、幼保 A となります。
- ★ 当日は一般入場もあるため、**貸切ではございません。**貸切を希望される方は事前にご相談ください。

A: 生解説コース ◆解説員による星空解説+「季節の物語(映像番組約5分)」

星空解説	該当月	季節の物語
ご来館日の星空をご紹介します。	5・6月	おとめ座のお話 春の女神デーメーテルの物語です。
	7月	たなばた 天の川の西と東に別れて暮らすおり姫とひこ星の物語です。
	9・10月	かぐやひめ 月からやって来た、輝くように美しいお姫さまの物語です。
	11・12月	ペルセウス物語 秋の夜空に広がる星座たち。エチオピア王家の物語です。
	1・2月	プレアデス神話 おうし座の肩で輝く「すばる」の神話。プレアデス7人姉妹の物語です。
	3月	おおぐま・こぐまの物語 カリスト(おおぐま座)とアルカス(こぐま座)の親子の物語です。

★該当月以外の番組をご希望の際は利用申込書にその旨をご記入ください。

B: 生解説と映像番組コース(5種) ◆解説員による短時間の星空解説+映像番組(約15分)

番組	内容
① 電腦快獣ギャラぼん ～星空プレゼント大作戦～	テーマ:いろいろな天体 ギャラぼんとミニぼんが宇宙を大冒険! すてきなプレゼントはみつかるかな?
② ぼんたのおつきみ (秋)	テーマ:月 秋がやってきました。ぼんたが夜空を見上げると、大きなおつきさまがありました。
③ ぼんたのたからもの (秋)	テーマ:いろいろな星座 ぼんたはくぬぎばあちゃんによばれて星の世界へ! たくさんの星座たちにてあいます。
④ スノウ ～キミはどこからきたの?～ (冬)	テーマ:雪 スコップがであった雪だるまのスノウ。ふたりでスノウの生まれた雲をめざします。
⑤ ほしふるよるに	テーマ:流れ星 ひかるは、迷子になってしまった流れ星のメテオのお母さんをさがします。

C: 映像番組コース(2種)

番組	内容
① ぼくたち惑星8兄弟	テーマ:太陽系 ◆解説員による短い星空解説と20分のアニメーション すい、きん、ち、か、もく、ど、てん、かい いくつかの惑星があるか知っていますか?
② たいようくん と おつきちゃん	テーマ:太陽、月、星 ◆アニメーションのみ たいようくんは、夜空に輝くほしさんに合わせてみたくてたまりません。 たいようくんが会えるほしさんはいるかな?

令和8年度 小学校中学年～高学年むけ学習投影

番組は約50分の生解説です。

★小学校学習指導要領に準拠した内容です。

★以下のA、Bどちらかをご指定ください。

番組		内容
A	小学校4年生用 「月と星の学習」	<ul style="list-style-type: none">● 太陽の動き(復習)● 月のいろいろな形・月の動き● 星の明るさ・星の色・星の動き● 今夜の星空
B	小学校6年生用 「月と太陽の学習」	<ul style="list-style-type: none">● 月の形の変化と月の動き● 太陽と月のちがい● 日食・月食● 今夜の星空

※投影内容に希望がある場合、3カ月前までにご連絡ください。

令和8年度 中学生以上むけ学習投影

番組は約50分の生解説です。

★中学校学習指導要領に準拠した内容です。

★以下のC、Dどちらかをご指定ください。

番組		内容
C	「金星の満ち欠け」	<ul style="list-style-type: none">● 月の満ち欠け(復習)● 金星の動きや満ち欠けと仕組み● 今夜の星空
D	「宇宙の広がり」	<ul style="list-style-type: none">● 太陽系の惑星たち● 宇宙の広がり● 今夜の星空

※投影内容に希望がある場合、3カ月前までにご連絡ください。

サイエンスプログラム

小学生までが対象です。

下記より一つをお選びいただけます。

※内容は一部変更する場合がございます。予めご了承ください。

	サイエンスショー①	サイエンスショー②	サイエンスワークショップ
目的	身の回りにあるものを題材に、不思議に感じる実験を通して、理科への興味を引き出します。		楽しくモノを作りながら、理科を学び、興味を引き出す「つくる」ワークショップです。
タイトル	空気のサイエンスショー	風船のサイエンスショー	万華鏡の原理を知ろう
時間・人数	時間: 約20分/回 受入可能人数: 下記参照	時間: 約20分/回 受入可能人数: 下記参照	時間: 約20分/ 回 受入可能人数: 最大25人/ 回
プログラム	空気の ^{ちから} 力や重さを知る (空気砲・天秤等)	風船を使用した実験 (飛ぶ風船)	鏡の性質を利用した工作 (万華鏡のしくみ)をする。
ねらい	空気の性質について学びます。空気に重さがあること、空気の流れなどの、普段は目にすることができない事実を、実験によって気付かせ、理科への興味を引き出します。	ゴム風船を使って実験をします。ゴムの伸び縮みする性質(弾性)があることで起こる現象を使った実験を通し身近な物質への理解を深めます。	・工作の過程で科学の原理を学び、理科への興味を引き出します。 ・鏡を使って15cm程度の万華鏡を作り、鏡の性質について学びます。
備考	スタッフが年齢に合わせて実験の順番や内容などを変えて対応しますので、どの学年でも楽しめるプログラムです。 ※風船が割れ、大きな破裂音がする可能性があります。ご了承ください。		難しい工程は特にありません。どなたでも簡単に作成できます。

<特記事項>

・25人以上の団体には、全員でご参加いただけるサイエンスショーをお勧めしています。

受け入れ可能人数 未就学児～小学校低学年 :55人程度まで

小学生以上 :45人程度まで

・サイエンスワークショップについて、受け入れ可能人数以上の団体の場合はグループに分かれて入替制で実施いたします。ただし、1時間に対応できるのは2グループまでです。

・グループに分かれた場合、同一のプログラムとなります。

各体験施設のご紹介（1/2）

各体験施設には対象、利用制限がございます。以下ご確認をお願いいたします。

なお、利用制限については必ず次章の「**禁止事項**」も合わせてお読みいただき、ご承知の上でご来館ください。

① スペースあすれちつく(70名/20分)



直径17m、高さ10mの国内最大級の3層式ネット遊具です。

ポンポンと飛び跳ねたり転がったり、バランス感覚を養いながら思いきり体を動かし、全身を使って遊ぶことができます。

★対象年齢: 満1歳以上

★安全上、服装や遊び方等の注意事項がございます。

② クライミングぱーく(10名/10分)



高さ3m、長さ10mのクライミングウォールです。楽しみながら、集中力や判断力、バランス感覚を身につけることができます。

2021年度より全面リニューアルし、新しいホールドや難易度別のコースを追加しました。

お子さんのやりごたえがアップしています！

★対象年齢: 満4歳～小学生

★安全上、服装や遊び方等について注意事項がございます。

★小学生までの利用のため、中学生以上の団体利用はできません。

各体験施設のご紹介（2/2）

※③～⑤の施設利用を事前に予約することはできません。「利用条件・規則」もご確認ください。

③ホワイトあとリエ

***団体枠での対応はありません。**



工作やワークショップのための多目的スペースです。

「おえかきタイム」では、水性ペンで自由に絵を描いて楽しむことができます。

※「おえかきタイム」は、清掃・消毒でご利用いただけない時間帯もありますのでご注意ください。

※写真は以前のもので、必ずしも現状を反映したものではありません。

④わくわくデスク

***団体枠での対応はありません。**



さまざまな遊びや観察、実験の体験キットを選んで体験できるコーナーです。

※受け入れ人数、および体験できるキットは限られます。

⑤デジタルきゃんばす

***団体枠での対応はありません。**



プロジェクターから床や壁に映し出された映像を、自分の体を使って操作して遊ぶコーナーです。プログラムは2パターンをお楽しみいただけます。

利用条件・規則（③～⑤）

- ・ 予約団体の優先利用はございません
- ・ 一般の利用者や他団体と一緒にご利用ください
- ・ ご利用は当日の混雑状況に依存します

学習施設のご紹介

以下(③と④)、当館内の貸室を紹介いたします。一般的な使用ルールのうち、代表的なものは以下の通りです。

- ・ 1時間を1コマとして貸出されます
- ・ 時間内に、清掃や原状復帰を終えて退出し、部屋の鍵を返却します

さらに、団体利用の場合、これらの貸室を一定の条件・規則の下で、昼食やおやつ、荷物置きなどのために利用することが可能です。詳しくはページ内下段の「利用条件・規則」をご覧ください。

③ 多目的室(最大定員:186名)



当館の3階にあります。

多目的室1と多目的室2の二部屋で構成され、それぞれ60名以上が定員です。それ以上の人数が利用する場合、部屋の仕切りを片付け、一つの大部屋として運用します。この場合の定員は186名となります。

※写真は多目的室の1と多目的室2を合同したときのものです。

机にはキャスターが付いており軽量であるため、簡単に運べます。

④ レクホール/音楽室(定員:24名~70名)



当館の地下2階にある練習室です。通常はダンス、空手、生け花、書道など様々な目的で市民活動に利用されています。

各部屋にパイプ椅子と折りたたみ机がありますが、使用する場合にはこれを設置する必要があります。定員は部屋ごとに異なり、20名前後の小さい部屋から70名程度の大きな部屋もあります。床はビニール材で出来ており、第3レクホールのみフローリング部分があります。

利用条件・規則

- ・ 昼食やおやつなど、食事のために利用できるのは1時間だけ
- ・ 学校教育団体(学校や幼稚園、保育園、子ども園など)が使用する場合、1時間のみ使用料が免除される
- ・ 荷物置きやレクリエーションなどで1時間以上利用する場合、超過分は有料となる
- ・ 物品の貸し出しは出来ないが、机や椅子などともと室内に設置されているものは自由に利用できる
- ・ 音楽室/レクホールを利用される場合、レジャーシートなど敷物の利用を推奨

禁止事項

共通

以下の場合、体験施設の利用や入場が制限、または禁止されています。

- ◇ 安全器具の正常な装着ができない。
- ◇ 衣服と所持品の制限を守れない。
- ◇ 利用規則が順守できない、またはそれに同意できない。
- ◇ 利用者が著しく不潔・不衛生な状態にある。また火気・酒気を帯びている。

○スペースあすれちっく

禁止

- ◇ 妊娠中の方は、入場ができません。
- ◇ 素足での入場はできません。靴下の着用が必要です。

制限

- ◇ スカート、ベルトや紐類、パーカーなど、衣服の一部または全部が遊具の網目に引っかかる恐れがある場合、利用をお断りいたします。入場前にスタッフにお問い合わせください。
- ◇ 携帯・カメラ等を含め、基本的に手荷物を遊具内に持ち込むことはできません。ただし、事前にご相談いただいた上で、特別に持ち込みを認める場合がございます。以下に実例を示します。
 - ・ 救急医療に携わる医師が、緊急連絡用の通信機と救命キットを携帯したまま入場した。
 - ・ レスキュー隊員が、緊急連絡用の通信機を携帯したまま入場した。
 - ・ 聴覚障がい者や視覚障がい者が、感覚補助器具を装着・携帯したまま入場した。

いずれの場合にも、所持品の脱落と破損には、ご自身の責任と管理のもと十分な注意を払って頂きご入場いただいております。

○クライミングパーク

禁止

- ◇ 未就学児が保護者の同伴なしで遊具を利用することはできません。
- ◇ 遊具利用中は、所持品を携帯することはできません。

制限

- ◇ 遊具を利用中、保護者以外の同行者は、安全距離(=安全マットの外)で待機してください。

がんばるウォール

禁止

- ◇ 安全装置を正常に装着し、使用できない方の利用はできません。

制限

- ◇ がんばるウォールには、スタッフと体験される方以外、ご家族であっても入場できません。ただしご事情により、入場(付き添い)を認める場合がございます。以下に実例を示します。
 - ・ 肢体不自由で義肢を使用している子どもがトライした際、義肢の状態や安全装置を適切に使用できているか確認し続けるため、入場した。